

南仏事件情報（2016年5月）

（1）殺人、強盗等

- 20分間で殺人と殺人未遂（ブーシュ・デュ・ローヌ（B d R）県）

12日5時40分ごろ、マルセイユ市3区のメトロ駅前の路上で、22歳のコモロ諸島出身の男性が銃弾に倒れた。男性は、彼女を職場に送るため、路上に車を止めて待っていた。そこに2人の者が現れ、運転席から大型の猟銃を4、5発打ち込んだ。これに先駆けること約20分、殺人現場から1kmも離れていない場所で、被害者の兄弟（25歳、32歳）が男からナイフで襲われ、太ももと腕を負傷した。

- 憲兵隊突入部隊員が殺される（ヴァール県）

21日、ガッサン市で、妻を殺害したのち立て籠もった80代男性の自宅に介入した38歳の憲兵隊突入部隊員（G I G N）が、同男から殺害された。

- 男性が銃弾に倒れるも、乳児は奇跡的に助かる（B d R県）

24日16時ごろ、マルセイユ市15区で、35歳の男性が車両に乗車していたところを銃撃され死亡した。後部座席に乗っていた2歳の乳児は無事だった。被害者の男性は、兄弟の車の修理を手伝うために車で現れたところ、待ち伏せしていた2人の襲撃者からカラシニコフによる銃撃を受け、4～5発が命中した。奇跡的にも、後部座席のチャイルドシートに乗っていた彼の2歳の乳児は無事だった。被疑者は覆面をしており、襲撃後車で逃走した。現場付近に設置されていた3台の監視カメラの映像をもとに、警察が捜査を開始している。

- 「私は彼女の体をバラバラに切断した」（オート・ガロンヌ県）

24日以降、トゥールーズ市のミディ運河沿いで、切断された人間の体の部分が相次いで発見された。まず始めにビニール袋に入った左足が、続いて両腕とスーツケースに入った胴体が発見され、26日には駅前通り付近で右足が発見された。それぞれの部分は同一人物のもので、女性のものだと認められた。捜査の結果、被害者は障害者支援協会のカウンセラーとして働く52歳の女性であり、遺体はノコギリで切断されたことが判明した。

その後、モンペリエ市で、被害者と同じ協会と同様のポストで働く同僚の52歳女性が殺人容疑で拘束された。当局の取調べに対し、被疑者は「彼女の体をバラバラに切断した。」と自供したが、詳細については明らかにしていない。被疑者によると、「5月25日に被害者から意味不明瞭なSMSを受け取ったことから、説明を求めに同人宅を訪問したところ、被害者から飛び掛られたので、ワインボトルで殴りつけた。その後、ノコギリを買って戻ってきて遺体を切断し、ビニール袋に詰めてミディ運河に捨てた。」とのこと。被害者の頭部は、未だ発見に至っていない。

(2) その他

○ ジカ熱の感染例が確認（アルプ・ドゥ・オート・プロヴァンス県）

9日夜、アルプ・ドゥ・オート・プロヴァンス当局は、同県の男性がジカ熱に感染していると診断されたことを発表した。男性は、アンティル諸島に旅行していたとのこと。フランス本土での感染は2例目。

○ 10数人の目撃者の前で男性が刺される（BdR県）

9日15時30分ごろ、マルセイユ市1区の旧港地区で、21歳の男性が、4人の男から襲われ、ナイフで胸や脇、背中など9カ所を切りつけられた。犯行は、観光客がレストランのテラスでくつろぐ面前で行われた。犯人らは地下鉄駅に逃げたことから、警察は防犯カメラの映像を解析中。

○ ガソリンスタンドが狙われる（コルス・デュ・シュド県）

16日未明、サルテン市で、ガソリンスタンドが爆破された。これは爆発物によるもので、爆発物は店舗の出入口ドアに仕掛けられ、窓ガラスが吹き飛ばされた。ガソリタンクに被害はなく、けが人もなかった。

○ 礼拝所に対する破壊の罪で5人を拘束（コルス・デュ・シュド県）

24日、アジャクシオ市で、警察が昨年12月25日にイスラム教の礼拝所を破壊した罪で5人の男を逮捕し拘束した。被疑者は24～30歳の男性であった。

○ 正当防衛の結果、強盗が死の淵に（BdR県）

29日午前5時ごろ、ロックヴェール市で、レストラン経営をしている夫婦が車で自宅に帰宅したところ、覆面をした武装強盗2人が現れ、同夫婦を脅迫・暴行し、自宅への案内を強制した。屋内で寝ていた次男は飛び起きたが、太ももに銃弾を受けた。次男は勇気を振り絞り、強盗の隙を見て、彼らが持っていたライフル銃を奪い取った。強盗が銃を取り返そうと襲いかかったとき、銃が暴発し、強盗の頭部に当たった。銃弾を受けた強盗は29歳で、死の淵を彷徨っている。もう1人の強盗は逃走している。本件に関し、検察当局は、「正当防衛の要件は整っている。」とコメントしている。

○ 少年が銃撃を受けて負傷（B d R県）

31日18時30分ごろ、マルセイユ市13区で、15歳の少年が臀部に銃撃を受けて病院に搬送された。命に別状はない。被害者の少年は、警察による事情聴取に対し、被害者が屋外にいたところ、フードなどで顔を隠した複数の人間が近寄ってきて、自動小銃を発砲して逃走したとのこと。犯人を知っているかどうかについて、少年は明らかにしていない。

※ ここに掲載した事件は新聞等の公開情報をもとにまとめておりますが、掲載した事件以外にも日々各種事件が発生していることを申し添えさせていただきます。